

「極正翼の無能
 二八分の組織や、極右翼の非活動に比し
 然が同盟の社会的存在を確ましめたものであ
 る」

全日本労働者大会への参加

全日本労働者大会主催の下に在の如く用かれた。
 大会は参加組合同盟から見れば反資本運動
 推進にある。

昭和七年七月二日午前十一時 東京芝浦調音館

- 出陣代行員
- 全日本労働者組合 一五五名
- 日本労働組合同盟 二二〇名
- 労働組合係聯合 九名
- 労働者同盟 一〇名
- 日本労働者代表 一九名

計 四二五名

議事

- 一、小松原君大郎君暗殺事件に関する緊急運動
- 二、立入禁止及射に關する決議(今日も提出)
- 三、復讐事件防止の件(組合総議案提出)
- 四、復讐事件及射運動に關する件(組合同盟提議)
- 五、川崎炭坑労働者救済に關し政府當局に對する
 四要請案

決議を大会は左の如く全国各地に行はれた。

- ◇全関西労働者大会 一月一日 大阪
- ◇全淡路労働者大会 七月十日 淡路洲本町
- ◇川口全労働者大会 十月七日 埼玉縣川口町

以上 組織宣傳部報告終り

青年部報告

昨年度大会の決議に基き各組合各地方に組
 織されたが未だ全国的統一組織の結成を見るに
 至らない。それは青年前衛隊の組織を此自体に
 とするふ多くの困難にもよるが、國領部長の解
 任問題その他特殊的事情があつたためでもある。

一、関東青年前衛隊の組織と活動

- 二年六月十九日に東京上野自治会館に総会
- 二、司会、井才野、一、経過報告、小松原、二、規約審
 議、山田、三、青年前衛隊規程、四、青年前衛
 隊の任務、二分隊及班に就て、小松原、一、反復
 下運動支持、八枝、二、反立禁運動支持、茅野
 一、機關紙及機關雜誌、谷原、二、宣言、春日
 一、役員選衝、一、祝辭演説

関東青年前衛隊は結成以來常に階級闘争の先
 頭に立つて活動し來つたが、主要動員如左

23

婦女部報告

- 一、小松原君大郎君暗殺に際して宇都宮(七月)
- 二、反復下運動に對する動員(六月七日)
- 三、野山労働争議支援(九月)
- 四、日本紡織本庄區土紡争議支援(十月)
- 五、才一回雄茶大会(十月廿七日)
- ◇、其他の地方に於ける情勢
- 二、常盤石地方青年前衛隊
- 昭和二年八月廿一日 綴駈前常陸館にて総会
- 雨末常盤地方の釜山運動の先頭に立つて活
 動に活動して、ある。
- 三、高砂互友会青年前衛隊
- 四、九州地方青年前衛隊
- 昭和二年十月組織

我が組合同盟は日本紡織の關係上極よて
 の婦女会員を擁しておるので、婦女部の活動は

23